

勾玉をつくろう!

日時 平成30年10月28日(日)、11月24日(土)、12月16日(日)13:30~(受付終了15:00)  
 場所 城陽市歴史民俗資料館 工作室  
 対象 小学生以上(ただし、小学2年生以下は保護者同伴)  
 定員 15名  
 参加費 おとな200円、小・中学生100円  
 ※事前申込みは不要です。  
 受付終了時間まで随時参加可能ですが、お待ちいただく場合があります。



体験教室~身近な材料を使ってつくろう!

①自分だけの朱印帳!

日時 平成30年10月28日(日)  
 13:30~(受付終了15:00)  
 参加費 材料費300円  
 対象 小学生以上

②ペットボトルの  
 キャップを使った  
 ピンクッション(針山)!

日時 平成30年11月24日(土)  
 13:30~(受付終了15:00)  
 参加費 無料(入館料必要)  
 対象 小学4年生以上

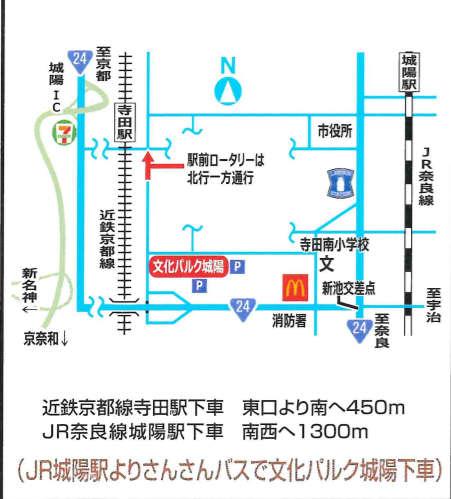
③お正月の箸袋と  
 ポチ袋!

日時 平成30年12月16日(日)  
 13:30~(受付終了15:00)  
 参加費 材料費300円  
 対象 小学生以上

①~③共通

申込み 当日13:00~15:00まで資料館受付にて申込み(先着順)  
 場所 城陽市歴史民俗資料館工作室前フロア  
 定員 15名程度

交通案内



■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日(祝休日の場合は開館)  
 祝休日の翌日(土・日曜日の場合は開館)  
 12月27日~1月4日

■観覧料 おとな 200円(140円)  
 小・中学生 100円(70円)  
 <団体料金>おとな 160円(110円)  
 小・中学生 80円(50円)

※団体は20名様以上  
 ※( )内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料

<次の方は観覧料が免除されます>

- ★城陽市内在住の65歳以上の方
- ★城陽市内在住の小・中学生
- ★城陽市内在住の身体障害者手帳等をお持ちの方
- ★城陽市外の小・中学校の団体観覧(但し、児童・生徒のみ)

秋季特別展  
 スタート

秋季特別展  
 最終日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

文化財講演会



資料館マスコット「ごりごりくん」

ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。  
 「五里五里の里」の「ごり」とその語感からゴリラをキャラクター化したものです。  
 古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古墳時代を思わせる姿になっています。

五里ごり館通信



五里ごり館

城陽市歴史民俗資料館(文化パルク城陽 西館4階)

〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地  
 TEL 0774-55-7611 FAX 0774-55-7612

平成30年度秋季特別展

奥田駒蔵と

メイゾン 鴻乃巢

—寺田出身の青年が作った大正文士のサロン—

平成30年10月20日(土)~12月16日(日)

期間中の休館日 10月22・29日、11月5・6・12・19・26・27日、12月3・10日

われわれは、屢々、鏡河岸の鴻の巢に会合した。  
 ……いふならば、その店に足をふみ入るといふことが、  
 ……すでに、新しい芸術の香気に触れるといふことに  
 われわれにすればなつた。

久保田万太郎「MAISON KONOSU」より

第83回文化財講演会  
 「祖父奥田駒蔵とメイゾン鴻乃巢」

日時：平成30年11月23日(金・祝)  
 13:30~15:00(受付13:00~)  
 場所：ふれあいホール(文化パルク城陽西館2階)  
 講師：奥田恵二氏・奥田万里氏  
 申込み・参加費：不要

関西文化の日  
 11月8・17・18・28日  
 入館無料!!

ギャラリートーク  
 (学芸員による展示解説)

日時：10月27日(土) 11月17日(土)  
 12月9日(日) 14:00~15:00  
 場所：歴史民俗資料館特別展示室  
 申込み不要・入館料必要

奥田万里さんって  
 『大正文士のサロンを作った男  
 —奥田駒蔵とメイゾン鴻乃巢—』の  
 著者なんだって!!





① 鴻乃巢 新装開店ポスター 奥田駒蔵画 大正11年

# 奥田駒蔵をめぐる 人物関係図



③ 関東大震災後に再建された京橋鴻乃巢 『建築写真類聚』 大正12年12月



④ 奥田駒蔵と家族 大正7年頃



② 京橋の鴻乃巢 大正8年頃

## 奥田駒蔵関係年表

明治15(1882)年	0歳	京都府久世郡寺田村北東西にて、奥田太兵衛の次男として誕生
明治21(1888)年	6歳	寺田尋常小学校入学
明治26(1893)年頃	11歳	京都市内に奉公に出る
明治34(1901)年	19歳	横浜に出る フランス人コット氏の元で西洋料理の修行 渡欧して本場の料理を学ぶ
明治41(1908)年	26歳	山崎ヨネと結婚、息子一夫誕生
明治43(1910)年	28歳	東京日本橋小網町に「メイゾン鴻乃巢」開店
大正 2(1913)年	31歳	日本橋木原店に移転
大正 5(1916)年	34歳	京橋南伝馬町に移転
大正 8(1919)年	37歳	すっぽん料理「まるや」開店
大正12(1923)年	41歳	関東大震災のため、「鴻乃巢」「まるや」被災
大正13(1924)年	42歳	「まるや」再建開業
大正14(1925)年	43歳	東京市京橋区木挽町にて死去

鴻乃巢に行ったことで  
「五色の酒事件」に発展  
尾竹紅吉

駒蔵が最初の所有者  
関根正二  
の作品「子供」

鴻乃巢の広告に  
文や歌を寄せた  
志賀直哉  
三木露風  
吉井勇

鴻乃巢の看板を制作  
北大路魯山人  
鴻乃巢のメニューの  
絵を描いた  
高村光太郎

鴻乃巢と  
駒蔵について  
文章を書いた作家  
谷崎潤一郎  
水野葉舟  
内藤千代子

永井荷風  
久保田万太郎  
里見淳

駒蔵の絵を所有  
有島武郎  
吉田正太郎  
与謝野晶子

駒蔵の葬儀に  
友人として  
名を連ねた  
岡野知十  
与謝野寛

鴻乃巢を題材に  
詩を書いた  
木下杢太郎  
北原白秋

鴻乃巢で  
蓄音機近代音楽会  
大田黒元雄

文化学院創設・教員、駒蔵は料理の講師  
西村伊作 石井柏亭



⑤ 奥田駒蔵 大正14年頃